

平成27年3月長浜市教育委員会臨時会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

平成27年3月9日（月） 午後1時30分～午後3時05分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所東館5階）

3. 出席委員

委員長	桐山恵行
委員（委員長職務代理者）	井関真弓
委員	西橋義仁
委員	川口直
委員	北川貢造（教育長）

4. 欠席委員

なし

5. 出席事務局職員

部長	嶋田孝次
理事	板山英信
教育総務課長	山田昌宏
教育指導課長	杉本義明
教育総務課副参事	伊吹定浩
教育総務課主査	隼瀬愛

6. 傍聴者

なし

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第1	会議録署名委員指名
日程第2	教育長の報告
日程第3	議案審議

議案第7号 長浜市立小学校・中学校の校長及び教頭の任免の内申について
日程第4 その他

3. 閉会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開会

委員長からあいさつの後、開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

西橋義仁委員、川口直委員

3. 教育長の報告

教育長：次回定例会で報告しますので、今回は特段報告することはありません。以上です。

4. 議案審議

本日の会議に諮る予定の議案第5号につきましては、人事に関する案件となるため、当議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員一致で議決された。

議案第7号 長浜市立小学校・中学校の校長及び教頭の任免の内申について

(非公開)

特に意見はなく、各委員とも異議なしということで、原案どおり可決された。

5. その他

・「平成26年度長浜市教育委員会学校視察を終えて」について教育総務課長から資料に基づき説明があった。

川口委員：2年ぶりに学校の雰囲気味わわせていただくことができた。やはり北と南では同じ長浜でありながら地域性や学校規模の違いで、随分子どもたちの様子も違うものを感じた。統廃合の話も出ている中、小規模校の子どもたちが大規模校に入ったときにどのような学校生活になるのか具体的にイメージしながら視察をしていた。大規模校で見た大規模校ならではの良さに少しでも近づけたらいいと思うが、子どもたち自身の問題でもあり保護者の問題でもあるので、今後進めていく場合には保護者や地域の気持ちに配慮しながら慎重に協議を進めていってほしいと考える。新聞等においても統廃合の問題が大きく出たこともあり、私の耳にも進捗をたずねる声が入ってきており、統廃合が決定事項なのか心配される方にはこれから検討を進めていく話であることを説明している。学校

訪問の際、事前にそれぞれの学校概要等が1冊になったファイルをいただき大変参考になったのだが、このファイルをでき得るなら年度当初にいただけると、何か事故や問題が起きたとき、学校の経営方針や体制がよくわかり意見が出しやすいと思うので検討していただきたい。

西橋委員：長年現場を離れていたが、久しぶりに現場を視察し、8、9年前に比べると状態はとても落ち着き、良くなっていると感じた。学校現場での努力と教育委員会の指導、支援の賜物であると思う。学校へ行き校長室へ入るまでの校長先生や教頭先生の対応を見ていると、その学校の様子が半分はわかると感じた。接客というのはとても大事なことで、学校には毎日様々な方が来られ、その方々にどのような態度でどのような接し方をされているかによって、学校のイメージが変わるので、そういった視点での指導もこれから行っていくべきではないかと感じた。また、学校によって案内板や資料に学校視察と書いているところと学校訪問と書いているところがあり、視察と訪問では随分とイメージが違うので、統一したほうがいいのではないかと思う。最後に公開授業一覧の作成の仕方だが、ある学校では1時間の授業の流れが簡単に書いてあり、短い視察時間の中で、この授業がどのような流れの中のどの部分を見ているのかということが非常にわかりやすかったので、現場にはご負担をかけるようだが、次年度からはあのような形でどの学校においても公開授業一覧を作成いただけると、先生方の勉強にもなり、見る方も効果的な見方ができるように感じた。

井関委員：市の教育方針をもとに、それぞれの学校が地域と連携を図りながら目標を掲げて、先生方が日々努力されていることを感じ取ることができた。しかしながら、視察をする中で大規模校と小規模校、あるいは南北の差を感じたことも事実である。きめ細やかにノート指導や板書指導をしておられる学校もあれば、それぞれ先生方の力量に任されている学校もあつたりしたが、学校の中や学年の中でもっと交流して学び合える機会があつてもいいように思った。来年度からは市教委でマイスター制度も始まるので、他の先生の良いところを学ぶことで、更によりよい授業を行い、学力向上に向けて取り組んでいただきたい。また、今年度から図書館司書を高月小と長浜小、湯田小の3校に配置していただき、高月小と長浜小を視察した時に図書館ものぞかせていただいた。高月小では読書量が今までの2倍にも3倍にもなり、今まで閉まっていた図書館に司書が配置されたことにより、子どもたちが図書館に足を運び、自分たちで調べものをしたり、図書館で授業をすることができるようになったりと、人員配置がいかに大切なことであるかを感じたので、今後も拡充して行っていただきたい。最後に、学校視察の実施時期だが、中学校ではこの時期3年生は受験に向かって黙々とプリントで自習をされているクラスも多く、子どもたちの生き生きとした動きのある姿や先生とのやり取りなどをもっと見たいと思うので、難しいとは思いますが実施する時期を検討していただきたい。

桐山委員長：仕事柄、全部の視察に参加することは難しく、4年間かけて全部の学

校を一通り回りたいたいと思っていた。浅井小については、上草野小と下草野小を両方視察していたが浅井小としては訪問できなかったものの、全校回ることができて大変良かった。私が委員になって1年目の時にはこのような資料は事前に準備されておらず、視察先の学校で当日大量の資料を渡され、説明を受けることに非常に違和感を感じたので、そのことを事務局に伝え、2年目からはこのような資料を事前に作っていただけることになったのだが、大変わかりやすい資料を準備いただき感謝している。私はほとんどの先生を存じ上げないので、公開授業一覧にも先生の年齢や初任者の表示があるとありがたい。また、私も西橋委員のご意見同様、授業の流れを入れていただく方がわかりやすく良かったと思う。ところで、複数回視察させていただいた学校で、同じ方が何年も特別支援のクラスを受け持っておられる学校があった。特別支援は難しいところがあるので力量のある先生がもたれているのだと思うが、通常学級でたくさん子どもたちにもその指導力を発揮してほしいと思うし、どの先生でも特別支援のクラスを教えられるような力量を持っていただくことも必要ではないかと思うので、固定するのではなくローテーションしていただきたいと考える。規模については千差万別で、私としては、小規模校は小規模校なりの良さを感じたので、4年間視察をさせていただいたが答えは見つからなかったというのが率直な感想である。

北川委員：委員の方々には大變的確なご指摘をいただき、いずれも抽象的ではなく具体的にご意見をいただけたと思いますし、職員の在りようについて、研修や姿勢が大變重要だということを改めて認識しました。資料については、なるべく現場に負担をかけたくないという思いがあり、簡単な資料になっていましたが、教員にとってもこのようにまとめ、資料を作成することがいい勉強になるのではないかとのご意見もありましたので、ご指摘いただいた改善点については次年度に向けて検討したいと考えています。長期間にわたり大變ご苦勞いただきましたことに感謝いたします。

6. 閉会

委員長から、本日の委員会会議が全て終了した旨の発言があり、閉会の宣言があった。